

広島県告示第 171 号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和 48 年法律第 110 号）第 5 条第 1 項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第 4 項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成 20 年 2 月 28 日

広島県知事 藤 田 雄 山

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	府中市目崎町 762 番地 リョービ株式会社 代表取締役社長 吉川 進
工場又は事業場の所在地及び名称	府中市鶴飼町 800 番地 2 リョービ株式会社 広島東工場

2 申請の内容

65 酸又はアルカリによる表面処理施設 2 基の使用の方法を変更し、排水処理施設 2 基を新設し、1 基の使用の方法を変更する。また、第 1 排水口及び第 5 排水口の水質及び水量を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

			変更前		変更後			
種 類			65 酸又はアルカリによる表面処理施設 2基 (スプレー式前処理1, ディップ式前処理1)					
工期等	工事着手予定年月日		既設		許可後直ちに			
	工事完成予定年月日				着工後10日間			
	使用開始予定年月日				完成後直ちに			
使用の方法	項 目		通常	最大	通常	最大		
	排出水の汚染状態	汚 濁	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	8.5 以下	10.0 以下	5.8~8.5	5.8~10.0	
		等	の	生物化学的酸素要求量	25.0 以下	50.0 以下	25.0	50.0
				化学的酸素要求量	25.0 以下	50.0 以下	25.0	50.0
				浮遊物質	50.0 以下	60.0 以下	50.0	60.0
				窒素含有量	30.0 以下	40.0 以下	30.0	40.0
				リン含有量	60.0 以下	70.0 以下	60.0	70.0
				ノルマルヘキサン抽出物含有量	10.0 以下	25.0 以下	10.0	25.0
				亜鉛含有量	30.0 以下	60.0 以下	30.0	60.0
	鉄含有量	15.0 以下	25.0 以下	15.0	25.0			
汚 水 等 の 排 出 先		排水処理施設 1		排水処理施設 2				

(2) 汚水等の処理の方法 (その1) 排水処理施設 1

			変更前				変更後			
工期等	工事着手予定年月日		既設				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日						着工後10日間			
	使用開始予定年月日						完成後直ちに			
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		化学的酸素要求量	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
			25.0	50.0	10.0	25.0	28.1	54.2	10.0	25.0
	リン含有量	60.0	70.0	5.0	8.0	58.8	68.8	5.0	8.0	
汚 水 等 の 排 出 先		第1排水口				排水処理施設 2				

(その2) 排水処理施設2

種	類	凝集攪拌, 加圧式浮上分離及び全量ろ過式				
形	式	凝集攪拌, 加圧式浮上分離及び全量ろ過式				
主	要	寸 法				
		13.5m×4.6m×5.4m				
能 力 (汚 水 処 理)		150m ³ /日				
汚 水 等 の 処 理 方 法		凝集沈殿・中和・脱水・濾過				
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着工後10日間				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに				
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続使用 (なし)			
	処 理 水 等 の 処 理 後 の 状 態	項 目	処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5.8~8.6	5.8~10	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量		65.0	230.0	10.0	20.0
	化学的酸素要求量		60.4	219.4	10.0	20.0
	浮遊物質質量		70.0	260.0	20.0	30.0
	窒素含有量 (単位: mg/l)		27.5	37.0	25.0	30.0
	燐含有量		2.1	3.4	1.0	1.5
	ノルマルヘキサン抽出物含有量		40.0	80.0	3.0	5.0
亜鉛含有量		30.0	60.0	1.5	2.0	
鉄含有量		15.0	25.0	7.0	10.0	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		100.0	150.0	100.0	150.0	
汚 水 等 の 排 出 先		第5排水口				

(その3) 油水分離機

種	類	油水分離施設
形	式	油水分離施設
主	要	寸 法
		1.5m×4.6m×4.2m
能 力 (汚 水 処 理)		99.2m ³ /日

汚水等の処理方法		平行傾斜板式油水分離					
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに					
	工事完成予定年月日	着工後10日間					
	使用開始予定年月日	完成後直ちに					
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続使用 (なし)				
	処汚理水等	項 目	処 理 前		処 理 後		
			通 常	最 大	通 常	最 大	
	使用の 方法 の 汚 染 後 状 の 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5.8~8.6	5.8~10.0	5.8~8.6	5.8~10.0
		生物化学的酸素要求量		100.0	400.0	95.0	380.0
		化学的酸素要求量		100.0	400.0	85.0	320.0
		浮遊物質質量		90.0	350.0	80.0	300.0
		窒素含有量		30.0	40.0	30.0	40.0
		リン含有量		1.0	1.5	1.0	1.5
		ノルマルヘキサン抽出物含有量		80.0	120.0	60.0	100.0
		亜鉛含有量		30.0	60.0	30.0	60.0
鉄含有量		15.0	25.0	15.0	25.0		
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		65.9	99.2	65.9	99.2		
汚水等の排出先		排水処理施設2					

(3) 排出水の汚染状態 (その1)

排水口名	項 目	変 更 前		変 更 後		
		通 常	最 大	通 常	最 大	
第1排水口	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5.8~8.6	5.8~8.6		
	生物化学的酸素要求量		7.1	17.7		
	化学的酸素要求量		7.1	17.7		
	浮遊物質質量		14.2	21.2		
	窒素含有量		21.2	28.3		
	リン含有量		3.5	5.7		

ノルマルヘキサン抽出物含有量	2.1	3.5		
亜鉛含有量	1.8	3.5		
鉄含有量	5.0	7.1		
排出される汚水等の1日 当たりの量(単位: m ³)	33.9	40.9	0	0

(その2)

排水口名	項 目	変 更 前		変 更 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
第5排水口	水素イオン濃度(単位: 水素指数)			5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量			10.0	20.0
	化学的酸素要求量			10.0	20.0
	浮遊物質			20.0	30.0
	窒素含有量			25.0	30.0
	リン含有量			1.0	1.5
	ノルマルヘキサン抽出物含有量			3.0	5.0
	亜鉛含有量			1.5	2.0
	鉄含有量			7.0	10.0
	排出される汚水等の1日 当たりの量(単位: m ³)	0	0	100.0	150.0

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成20年2月28日から平成20年3月19日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境部環境対策局環境対策室及び広島県福山地域事務所厚生環境局環境管理課並びに府中市市民生活部環境整備課